

2021 年度第 10 回理事会議事録

開催日時：2022 年 2 月 10 日(木) 18:30~20:40

開催場所：Zoom

出席者：麻田、関、中本、苅谷、堀江、江平、田後、鶴谷、梅田、南角、西村、田村、小寺、阪東、鶴谷、佐藤、安彦、井上、伊藤、市橋

欠席：建内

書記：大島

★報告事項

1、事務局：苅谷局長より

①総務部：公文書発行なし

②財務部：在会者数 2833 人（内入会手続き中 3 名（内 2 名は入会取消予定））（2 月 7 日時点）

支払方法：楽天 2196 名、口座振替 388 名（内入会手続き中 1 名）、現金振込 248 名（内入会手続き中 2 名）

新入会者数 245 名（内入会手続き中 3 名、入会取消 10 名、他府県からの転入 1 名）

退会者数（2021/4/1~2022/2/7）99 名（内訳：任意退会 47 名、未納退会 27 名、休会経過退会 23 名、死亡退会 2 名）、復会者数（同）26 名、転出者数（同）101 名、転入者数（同）56 名、休会者（同）341 名（休会転出も含む）

③広報部：

2、社会局：江平局長より

部員拡充を希望する部（職能部・在宅分野）があるので、部員募集のチラシを作成する。

1 月 26 日 協会主催の介護予防（シルリハ）関係会議に、阪東理事、保田（公益事業部部長）が出席
→阪東理事より報告

①保険部：

令和 4 年度 保険部研修会（開催予定）

テーマ：「2022 年度診療報酬改定後の取り組み（仮）」

講師：3 名程度の講師を招いて（診療報酬改定後に検討）

日時：2022 年 10 月 16 日（土）

②職能部：

1 月 26 日 協会指定管理者（初級）研修を実施、7 名参加。

今年度のミーティング・事業は計画通り終了。

次年度、現在活動の柱となる 3 分野のリーダーを副部長として体制を整える。

③公益事業部：佐藤理事より

出張型介助教室（宇治市福祉サービス公社） 2 月 6 日（日）オンライン開催

今後単独施設対象ではなく、近隣施設への参加呼びかけ、コラボ開催も検討頂ける。

（今回は近隣施設のコロナ対応などにより実現できず）

講師：古河琢也先生（京都あすかい病院）

講師補助：藤原邦寛先生（京都あすかい病院）、山本洋平先生（京都あすかい病院）、

林知輝先生（部員外 京都あすかい病院）

④災害対策部：田後理事より

1)1/13（木）近畿ブロック会議（Web）…別紙議事録 万谷部長、加藤副部長、田後理事参加

活動状況、費用工面、備品整備、組織体制、諸団体連携、研修会状況、広報、住民啓発、有事派遣体制
マニュアル整備、地域 JRAT 関連について共有、意見交換

2)1/20（木）JRAT 近畿ブロック代表者会議 三上代表参加

・各県の活動報告：防災訓練はもちろん、Web 研修会も開催できていない府県がほとんど

・費用弁済について 10 月に本部から JRAT は JMAT の傘下に入るようにとの通知があったが JMAT との協定が
できている府県はあるのか？→現時点では兵庫県のみ（費用については未協議）

・チャットワークの利用をどうすべきか？用途によって、メールや LINE との使い分けが必要か？

・次年度は奈良県が担当

3、学術局：堀江局長より

①新人教育部：

②新人発表部：

③生涯学習部：

④北部研修部：

⑤会誌編集部：

⑥学会部：

・第 31 回大会優秀演題賞

「肺移植術後 24 ヶ月までの健康関連 QoL の回復過程と関連因子の検討」
京都大学医学部附属病院リハビリテーション部 太田垣あゆみ先生
・第 32 回大会 特別講演 講師 松田淳子先生（大阪行岡医療大学教授）よりご快諾
⑦理学療法士講習会（応用編）：

4、地域局：田後局長より

今後の予定

2 月初旬～中旬 担当理事会議 施設アンケート共有 2 月・3 月ブロック会議内容共有
2 月下旬 ブロック会議（担当理事主催） ブロックメンバーの抽出検討
3 月 ブロック会議（担当理事主催） ブロックメンバーでの顔合わせ

5、委員会：

①選挙管理委員会：令和 4・5 年度の役員選挙の日程について（別紙資料①）

⇒3 月 15 日士会 HP へ告示。

選挙になりそうな状況時には立候補機関の終盤に選挙方法について検討する。

6、その他：

①弔電の対応について：中本局長より

⇒弔電の承認としては三役の誰かが OK であれば良いとする。

差出人の名前については基本的には会長名のみとする。

士会の過去役員レベルの方には会長名＋士会役員一同の 2 通を出す。

②医師会「ブレイントラスト多職種連携会議」報告：田後局長より

令和 4 年 6 月 5 日（日）「在宅医療多職種連携について」を開催予定。

対象：介護職中心に基礎講座とロールプレイング予定。（今後ハイブリッドも検討）

各専門職より 3 名程度の参加要請あり。

★メール審議事項（2020 年度第 9 回理事会後～第 10 回理事会開催まで）：なし

★討議事項

1、事務局：

①総務部・財務部：

2021 年度仮決算：南角理事より→承認（質疑なし）

2022 年度計画案・予算案→計画案・予算案の修正は次回理事会までに行う。

・計画案：理学療法士講習会についてその他の欄に記載する→事務局の事業とする。

・予算案：広報部：士会 HP 会員専用ページの充実とクローズ化→承認

・京都学会 HP の広報部管理ため予算アップを検討→十分な検討を条件に承認

・会長行動費：＋15 万円（40 万円へ）→承認

質疑：

1. 市橋監事より：京都学会は例年予算 100 万で実施しているが、今回 150 万に大幅な予算増で計画しているがどういった理由か？

→A. 会場費、紙のポスター制作費、会議費（業務後に会議が必要）、清掃費などでこれまで以上に費用がかかる。

2. 堀江局長より：予算増にはハイブリッド開催も視野に入れているため？

→A. ハイブリッドでの開催だと 50 万の増額では足りないので基本的に対面か Web のどちらかで検討

3. 麻田会長より：採算がとれない企画を始めから計画するのはよくないため内容は十分に検討をお願いします。

②広報部：安彦理事より

1. HP 掲載および LINE 配信の現状ルールの確認および修正案について

修正案

①HP の新着情報の掲載文および LINE 配信文は原則作成の上、依頼してほしい→承認

質問：井上理事より雛形や文字制限数などを提示して欲しい。→A. 作成して提示する。

②バナー掲載依頼については、基本的バナーを作成いただきたい。→承認

質問：鶴谷理事よりバナーの作成について具体的には？→A. バナーのデザインを作成いただく。

2. 京都府学会の学会専用ページについて、毎年学会部で更新作業を行っているが、作業の効率性を鑑み、来年度以降は広報部にて更新作業を行いたい。そのため、学会組織の広報担当は理事および部長に関わらず広報部へ作業を依頼することができることとする。ただし、依頼メールの宛先に学会長および準備委員長を入れる事。

→来年度以降は広報部にて更新作業を行う事で承認

質問：西村理事より今までと何が違うか？→A. 今までは学会組織の広報担当がページの更新作業を行っていたが、不慣れなメンバーだと作業が大変であったので今後は広報部から学会担当を割り当ててページの更新作業を行っていく。その分、広報部の作業量が増えるため部員の増員を要望していく。

2、社会局：

①保険部：

②職能部：

③公益事業部：

④災害対策部：田後部長より

近畿ブロック共通災害時情報収集システム（Google Form）について

協会の登録メールを使用し会員の安否確認の導入について検討をお願いしたい。→承認

質問：

・中本副会長より Google Form は会員にどのように通知されるか？→A. ホームページ，士会メールなどで URL や QR コードを添付して入力してもらう。

・伊藤監事よりデータはどこが集約して何の目的で利用する？→A. 集約するのは士会。目的は士会員の安否確認（この是非は議論が必要）と会費の免除（士会から協会にまとめて申請）のため。

3、学術局：

①新人教育部：

②新人発表部：

③生涯学習部：

④北部研修部：

⑤会誌編集部：

⑥学会部：

第 32 回大会

1)教育講演講師について：安彦準備委員長より

・「臨床に役立つ解剖学（仮）」木村智子先生（京都橘大学）→承認

・「社会科学から捉えるコミュニケーション（仮）」松尾篤先生（畿央大学）→承認

2)広報について：佐藤大会長より

・各種研修会などで学会の案内スライドを掲示いただくなど広報を開始したい→承認

・HP や SNS の更新を行うにあたり、広報部から 1 名助っ人をお願いできないか→承認・ポスターデザインについて コンペ方式で依頼したい（Lancers 費用 55,000 円）→承認

質問：

1. 田後理事よりポスターは士会員が対象となるがどこに配布するか？

→A. 各士会員施設に 1 つずつ配布する。ただし自宅会員にどうするかは要検討

2. 市橋監事よりプログラム集が会員には配布されるので別にポスターを作成する意味がどれだけあるか？

→A. これまでなかなか学会の周知が十分にできていなかったと思われポスターを掲示して会員の目にとまるようにしたい。演題募集の前に配布して演題数増加の効果も期待したい。

コメント：

1. 田後理事よりポスターは確かに目につく。デザインが重要。

2. 堀江局長よりポスターの費用対効果を検証することが大事であり、これを機に演題数や参加者を増やす方法をしっかり検討していきたい。

⑦理学療法士講習会（応用編）

4、地域局：なし

5、委員会：

①表彰審査委員会

2021 年度会長賞の表彰状の提案について

2021 年度会長賞は 6 名の先生方の受賞が決定

2020 年度までは筒のケースに表彰状を入れていた（1 人当たり約 220 円）が、今後は表彰ファイルに入れる事（1 人当たり約 600 円）を検討→承認

②選挙管理委員会：

協会代議員：7 名立候補（定数 7 名）にて選挙なしにて確定。（麻田・梅田・堀江・江平・西村・田後・苅谷）

補欠代議員選出（3 名：順位別）：1. 南角学 2. 佐藤文寛 3. 阪東美可子の推薦でよろしいでしょうか？→承認

6、その他：

次年度理事会日程について
小寺、苅谷より調整の連絡

7、リハ医学会の士会担当役員の選出について：

来年度のリハ医学会の学会長が当士会の麻田会長に決定する。
学会の開催に伴い士会役員の協力要請あり。また担当役員として数名の選出が必要
→選出については麻田会長一任で承認

三役会	理事会
1月 31日 (月)	2月 10日 (木)
2月 18日 (金)	3月 3日 (木)

- 1月 14日 (金)：仮決算・予算案・事業計画案提出
- 3月 18日 (金)：出金〆切
- 3月 25日 (金)：本決算・領収書提出・事業報告〆切
- 4月 11日 (月)：三役会
- 4月 21日 (木)：理事会
- 5月 11日 (水)：18：30～監査会（士会事務所にて対面）
- 6月 26日 (日)：総会